

通常授業のご案内（中3） 入試必勝総合プラン

高倍率入試でも志望校に合格する！

中3スケジュール

12月

三者面談

1月

学年末試験
倍率発表

2月

私立高入試

3月

2026.3.4(水)
高校入試

進学会の流れ

新学力問題対策 入試過去問演習
中3教科書内容完全終了

冬期講習

中3総まとめ

入試必勝ゼミ

入試予想問題演習
答案作成術伝授
リハーサルに次ぐリハーサル

2026.3.16(月)
第一志望校合格！

高校合格者
63万名超が
歩んだ道！

公立高入試全員合格を目指す！

必要なものはすべて準備してあります！ おまかせ下さい！！

これからの中学3年生の内容

	主な行事 ☆進学会 ◎学校	主眼をおくところ	主な指導内容
12月	◎2学期期末試験(3期制) ◎三者面談 ☆入試本番体験オープン ☆トップ高合格模試(3回) ☆冬期講習スタート ※講習会テキストは中学3年分の総復習ができるように構成。この1冊をトコトンやり抜く。	◆冬期講習の予習(知識の確認・苦手分野の再確認) ◆受験まで克服分野を決定。 ◆私立対策も重要な力キ。 ◆12月末までに教科書の内容を全て理解する。1月2月は総合演習の時間が取れないと負ける。 ◆重要事項の「三平方の定理」も12月に実施！	◇社会・理科 記述対策 ◇数学 私立難問+公立難問 ◇英語 長文克服・単語追込 ◇国語 課題作文・漢字語句追込 中3の内容→授業即理解の原則で相似と三平方の融合応用問題に触れる必要有り
1月	◎学年末試験(中学による) ☆正月特訓 (3日間) ☆第7回合格判定テスト ☆入試必勝ゼミ開講 (入試予想問題演習で追い込み) ☆第8回合格判定テスト ◎入学願書提出	◆冬期講習対策問題の解きなおし ◆正月特訓重要問題の解きなおし ◆入試必勝ゼミでの入試予想問題演習 毎日入試レベルの問題を解くことにより、実力養成。 ◆7回・8回合格判定テストで目標点・目標SSを完全に突破する。	◇全教科 冬期講習・正月特訓復習月間 ◇数学 関数と図形の融合・相似と三平方の融合 ◇社会 社会記述対策 ◇理科 理科記述対策 ◇全教科入試必勝ゼミで追込み
2月	◎私立高入試 ☆入試必勝ゼミ ☆公立高入試そっくりテスト会 (入試本番を想定した練習 日曜を使って)	◆私立入試へ追い込み ◆入試必勝ゼミでの入試予想問題演習 毎日入試レベルの問題演習。 ◆そっくりテスト会で公立高入試本番を想定したリハーサルを強化。	◇全教科入試必勝ゼミで追込み ◇社会 時事問題対策の徹底 ◇そっくりテスト会 ・入試の時間配分練習 ・ケアレスミス対策
3月	☆入試必勝ゼミ(完成編) ◎公立高入試	◆直前予想問題で時間配分を確認。 ◆最後の最後までテキストを解く。 ◆高校の英語・数学の先取り学習	◇直前確認問題で最終確認 ◇直前予想問題最終リハーサル ◇体調管理

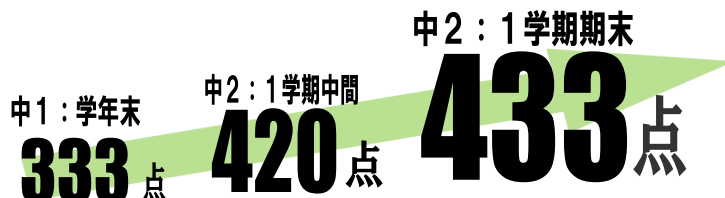
通常授業のご案内（中1中2）

50点伸ばして『憧れの高校』に届くのならば、あきらめるのはまだ早い！
冬からの進学会中1中2成績向上プロジェクト

『伸ばす授業』で生まれる上位高合格率・合格数

進学会生は初めから成績が良かった生徒ばかりではありません。右記の生徒は、中1秋から入会した生徒ですが、激しい部活でありながら、無理の無い進学会カリキュラムで上昇し続けています。このように入会してから伸ばす生徒がほとんどであり、圧倒的な上位高の合格率・合格数もその延長上にあります。

野球部のAくん（中1の9月より入会）



50点以上伸びるのは、中1・中2から始めた生徒が圧倒的に多い

今現在50点伸ばして志望校に届く成績を取られているのであれば、中1中2生にあきらめては欲しくないと思います。100点以上伸びている生徒のほとんどは中1中2から入会した生徒であり、部活と塾を両立して来た生徒です。日々の継続授業での理解と定期試験対策、そして講習会等で復習しコツコツ積み重ねた結果です。

『部活で疲れるから』が一番もったいない

入塾前、ほとんどの保護者の方は部活を心配なさいますが、進学会の場合、塾に来るとみるみる元気になります。本物の学習塾とはそういうものですし、本業の学業の成績が上がれば、生徒は何よりも充実感をえます。

特に中2の冬こそ、進学会スタート時期

～中3春でなく中2冬から頑張っで欲しい3つの理由～

① 中2の冬場は内容的に難しい。受験を考えると確実に理解して欲しい。

⇒入試での扱われ方が大きいのです。教科書レベル以上の深い所まで勉強が必要です。

数学：一次関数・図形が受験の勝敗を決めるといっても過言ではありません。

英語：動名詞・不定詞・比較・現在完了と文法が本格的になるのはここなのです。

理科：入試で正答率の低い、天気（露点・飽和水蒸気量）・化学反応は三学期です。

社会：早ければ早いほどよい科目。中1中2中3の出題比率は全て三分の一ずつ。

国語：定期試験は対策次第と断言します。進学会方式に早く慣れて欲しいのです。

② 内申点は学年末試験結果で決定。継続授業試験対策で悔いのない勉強を。

⇒昨今、絶対評価で差が付かなくなって来ていますから、失敗は許されません。中1の内申点は変えようがありませんが、中2の内申点は学年末試験の成功で変わります。

③ 生活は部活が終わるまで変わらない。

⇒新学期を選ぶ理由が、切れが良いという理由であるならば、間違いなく冬がお勧めです。

第一に、中3春に部活の状況は変わらないこと。中3夏からだ期間が少ないこと。

第二に、学習指導のプロの視点では、中2の冬が一番勉強の難易度が上がることと、その難易度が上がった内容が入試に直結します。

教える立場から言いますと、まさに今この時期が、受験勉強の最良の出発点！なのです。